

女性の多い分野、男性の多い分野で頑張る子へのインタビュー

男女共同参画社会においては、やりたいことや将来の夢を、性別に係らず選択できることが大切です。今回は、男性が多いと思われる分野で頑張る女の子、女性が多いと思われる分野で頑張る男の子をテーマに、インタビューをさせていただきました。

こが 古賀まゆこさん（槻沢小学校3年生）——野球を頑張っています——



野球を始めたきっかけは？

お兄ちゃんの野球の応援に行った時、大勢の男子の中で女子1人で一緒に野球をしている子を見ました。その女子の姿が格好良かったので、私も野球を始めました。

野球をしていて楽しいこと・大変なことは何ですか？

練習でうまくできないときは、悲しい気持ちになるけれど、試合でヒットを打った時は、とても嬉しい気持ちになります。

将来の夢を教えてください。

まだ分かりませんが、野球で教えてもらったことを大人になっても覚えていたいと思います。

ふじた たいよう 藤田 太陽さん（蕨根中学校3年生）——看護師を目指しています——

看護師になりたいと思ったきっかけを教えてください。

小学3年生の時に、3歳の弟が自宅で目の上を切って凄く血が出てしまったことがあったんです。当時の自分は、ただただ見ていることしかできなかったのですが、隣の家に住んでいる看護師の叔母さんがすぐに駆けつけて手当をしてくれました。その姿がとても格好良く、看護師に憧れるようになりました。

その後、小学6年生の道徳の授業で貧困について学び、「世界には苦しんでいる子たちが沢山いるんだ」と衝撃を受け、困っている人を救いたいという想いを強く持つようになりました。そして、看護師になることで自分にも何かができるのではないかと思い、看護師を目指すようになりました。



今後の抱負などについて教えてください。

以前、病院へ行った際に、男性看護師の人数が少ないことに驚きましたが、「人を救いたい」という気持ちに男性も女性も違いはないと思います。将来は看護師の道へ進み、目の前の困っている人、世界の困っている人を救える人になりたいです。現在は中学3年生で受験勉強が大変ですが、今の努力が看護師という夢に繋がっていると考えると頑張ることができます。

誰もがきらりセミナー 高校生出前講座

「高校生が描く男女のきらり社会」 ～自分らしさを大切に～

DVは重大な人権侵害であり、絶対に許されるものではありません。中高生へのデートDV※防止啓発のため、県男女共同参画地域推進員市連絡会による朗読劇やワークショップを行い、デートDV防止パンフレットを配布しました。デートDVとはどのようなものなのか学び、デートDVをなくすためにはどうすれば良いのかを考えました。

～高校生の感想～

- 肉体的にだけでなく精神的に追い詰めることもDVになることを知った。DVをしないのは勿論、されないために、嫌だと思ったことははっきり断ったり、お互いの意見を尊重し合ったりすることが重要だと思う。
- 男の子だけがDVをするのではなく女の子がする場合もあると知りました。友達がデートDVで悩んでいたなら「別れなよ」とかではなくその人の気持ちを考えて、相談にのってあげようと思います。



日時：平成30年10月15日(月)
場所：栃木県立那須拓陽高等学校

おかざき おとめ 岡崎 乙女さん * さとう ひなた 佐藤 日菜多さん（那須清峰高等学校 建設工学科2年生）

——建設工学について学んでいます——

建設工学科を志望した理由・きっかけは？

—岡崎さん(以下岡):親戚が内装業をしていて、いつか自分で家を建てたいという想いがありました。そんな中、中学の先輩に、那須清峰高校の建設工学科に誘われました。男子の多い学科だからといって、自身の進路に不安はありませんでした。

—佐藤さん(以下佐):中学生だった当時、進路選択で先生から那須清峰高等学校を勧められたのがきっかけでした。様々な建設関係の資格がとれることに魅力を感じました。



▲ 厚崎中学校出身の岡崎さん(左)
西那須野中学校出身の佐藤さん(右)▲

建設工学科で学んでいて楽しいことは何ですか？

—岡:私は、大工さんになりたいという夢から建築コースを選択し、中学校では学べなかった建築に関する専門的なことを学んで知識が増えていく時や、「こういう風にして家が建つんだなあ」と分かる時が、とても楽しいです。

—佐:私は土木コースを選択し、道路や堤防などの工事に関する勉強をしています。いつか自分や仲間が作ったものが地図に残るような仕事になるかもしれないと思うととてもワクワクします。また、入学してから今まで勉強してきたことが新しく学ぶことに繋がっていると実感できる時も楽しいですね。

建設工学科で学んでいて大変なことはありますか？

—岡:楽しいのと同時に、深く学ぶにつれて、専門用語など覚えることが沢山あって大変です。また、実習での力仕事は大変です。でも、男子からも励まされて頑張って作業しています。

—佐:女子も男子も作業内容は同じなので、土を運ぶなどの力仕事は大変だと思う時もありますが、グループで協力し合いながら取り組んでいます。



将来の夢を教えてください。

—岡:インターンシップで左官の仕事を体験させていただき、左官の仕事に就いてみたいと思うようになりました。高校卒業後は就職して、実践しながら学び、早く自分の技術を磨いていきたいです。建設業は男性が多いと思われるかもしれませんが、私は性別による差別はないと思っています。建設業はとてもやりがいのある仕事なので、ぜひ来年も女の子に入学して欲しいです。

—佐:鉄道関係や地質調査、測量など、興味のあるものが沢山あってまだ決まっていません。色々な夢を模索中です。今は多くの資格をとって、将来になりたいものになれるよう、日々頑張っています。

※デートDVとは…交際中のカップルの間で、一方が他方に対して繰り返し行う暴力のこと

- ◆身体的な暴力(殴る、蹴る、物を投げる など)
- ◆精神的な暴力(ひどい言葉を使う、大声で怒鳴る、無視する など)
- ◆経済的な暴力(お金をたかる、借りたお金を返さない など)
- ◆社会的な暴力(家族や友達との関係を制限する、外出を制限する など)
- ◆性的な暴力(キスやセックスを強要する、避妊しない など)

暴力を受けていると思ったら、一人で悩まず相談してください!

～相談窓口連絡先～

- 那須塩原市子ども・子育て総合センター ☎0287-46-5538
- とちぎ男女共同参画センター相談ルーム ☎028-665-8720

市HPにも相談窓口が掲載されています。(http://www.city.nasushiobara.lg.jp/04/000835.html)



日本女性会議2018

in金沢

日本女性会議とは、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流や情報のネットワーク化を図ることを目的とした国内最大級の会議です。1984年に第1回大会が名古屋市で開催されて以降、全国各地で開催され、第35回「日本女性会議2018 in 金沢」が平成30年10月12日(金)～14日(日)に石川県金沢市で開催されました。

日本女性会議に参加して

大会は金沢素囃子保存会の素晴らしい演奏で幕を開け、2日目は重要無形文化財(総合指定)認定の宝生流能楽師・松田若子さんの能舞と記念講演が行われました。男性主導の能楽界におけるご自身の歩みとともに、父への感謝、能への感謝が語られ、涙を流しながら聞き入りました。閉会式では、大会宣言が採択され、「継続して課題に取り組むこと」「才能を十分に発揮できる地域づくり、社会づくりに取り組むこと」等を参加者全員で確認しました。

(編集委員:柳場)



冬至



作: miina 絵: daisuke

「日本女性会議2019さの」のお知らせ

～ようこそ!『人生100年時代』さあ、共に語り、絆結ぼう。～
第36回日本女性会議が佐野市で開催されます。栃木県内での日本女性会議の開催は、1996年の宇都宮市以来、2度目の開催となります。

大会日程 2019年10月25日(金)～27日(日)

会場 佐野市文化会館ほか

「日本女性会議2019さの」の開催にあたり、プレイベントが2019年2月2日(土)佐野市文化会館にて佐野市男女共同参画講演会内で行われます。

平成31年度 みいな市民編集委員 募集

「みいな」に載せる記事の取材や構成などを行います。
あなたも“みいな市民編集委員”になってみませんか。

応募資格 市内在住または市内に勤務している20歳以上の方で、平日日中の編集会議(年20回程度)に参加できる方

編集委員期間 2019年4月～2020年3月(1年間)

募集締切 2019年3月11日(月)

応募方法 ①氏名(ふりがな) ②性別 ③生年月日 ④住所
⑤電話番号 ⑥職業 ⑦応募理由(100字～150字程度)を記載した書類(様式は問いません)を提出。
持参、郵送、FAX、メールのいずれかにより以下まで。

問合せ
申込先

市民協働推進課 男女共同参画係

電話 0287-62-7019
FAX 0287-62-7220

編集委員/阿久津一志 菊池和子 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子
編集/みいな編集委員 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課

〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108番地2

Tel: 0287-62-7019 Mail: kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp